

有限温度 2 カラー QCD におけるポリヤコフ ループのふるまい

大阪大学 RCNP 伊藤 悦子
高知大学 理学部 飯田 圭、李 東奎

目的 有限温度・有限密度2カラーQCDの相図と超流動性の
の解明に向けての準備。

内容 格子作用としてはIwasaki ゲージ作用とWilson格子
フェルミオンを用いてハイブリッドモンテカルロ法を用い
た配位生成シミュレーションを行った。

結果 格子サイズや κ を変えつつ、ポリヤコフループの β 依
存性を調べ、コードが適切であることを確認した。

利用した計算機
ノード時間
使用メモリ
並列化

SX-ACE
20,691時間
21GB
4並列

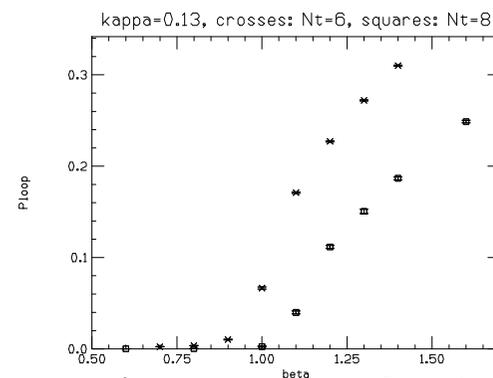


図 (ポリヤコフループの β 依存性)